

令和6年8月28日

令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

| 学校名 | 管理機関名 | 設置者の別 |
|-----------|-----------|-------|
| LCA 国際小学校 | 相模原市教育委員会 | 株 |

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

| 学校名 | 特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL |
|-----------|---|
| LCA 国際小学校 | https://elementary.lca.ed.jp/about/assessment |

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

| 学校名 | 自己評価結果の公表 URL | 学校関係者評価結果の公表 URL |
|-----------|---|------------------|
| LCA 国際小学校 | https://elementary.lca.ed.jp/about/assessment | 左記に同じ |

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

外国人教師と日本人教師の役割を明確にし、それぞれの特性を生かしながら連携して教育活動を実施している。授業における観察記録やテスト、学力調査の結果などをもとに、児童一人ひとりの学習状況を把握し、個に応じた指導に生かしている。また、一昨年から英語のカリキュラムを一新し、その達成状況を把握するように努めているとともに、イマージョン教育を意識した体験活動を実施することで、日常生活の中で活用できる英語力が育成されている。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

学級便りや学校便りなどを活用し保護者向けに定期的かつ適切に情報発信を行っている。また、11月には学校アンケートを実施し、児童だけでなく保護者向けの行事等も含めて意見を聞いている。行事ごとに保護者からの意見を収集し、教務会で内容や対応を検討したのち、職員会議において全職員で共有している。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

各教科の授業を英語で行う英語イマ ジョン教育を進めたことにより、児童の日常会話はもちろん、自分の考えや意思を表現することができる基礎的な力が育成されている。また、児童の発言力やプレゼンテーションの力、表現力なども優れている様子が見受けられる。外国人教師を通じて外国文化について触れる機会も多く、国際理解にもつながっている。

児童の多くが卒業までに英検2級相当の英語力をつけていること、中学校への進学の際、その英語力を活かし英語利用入試で受験に合格していることは、英語力を伸ばしていることの成果の現れであるといえる。

今後の課題としては、新しいカリキュラムを実施して得られた成果を、次年度以降の指導改善と児童の資質・能力の向上のために生かすことが望まれる。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

英検の合格率、難関中学校への進学率を見ても、英語力および国語力の育成において優れた効果が上がっている。また、サマーキャンプやスキーなど多くの体験的な学習を行う中で、英語と日本語を適切に用いてコミュニケーションを取ることのできる人材育成を図っている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

今後についても、学習指導要領に基づいた適切な教育課程編成の中で、児童の学習状況を丁寧に把握し、個に応じた適切な指導を行うとともに、引き続き各教科における指導と評価が一体化した授業の実施が望まれる。

そして、一新した英語カリキュラムを含めた全体的な教育活動を通して、多様性の理解を深め、国際社会で活躍できる人材を育成していくことが望まれる。